

村と号しけ村の色を流しりゆへ一太室
寺川といふありけ川一名寺川といふも
志川村の色を流しりゆへ

伝正又曰武書曰源義家武源家源義家の時
け所は陳利を得る地の利宜よりなり
弟の光廣はけ所をあるて後承久二年に平
賀時後多羽院を隠岐ゆへ流しなり
光廣り二代の孫大経亮廣利を子刑部大輔
廣正を隠岐へ呼帳吏り時へ廣流のより王
代古選記は有る云く伝正は事未考と云く

羽奥所く此要害なり記といふあり
古選記といふもの予も未見なり記の他若
け所の名は源義家以下の方をとり
書きより源義家以下の文をとり
の公を推しるに武源家源と對陳の地の
利宜大は利を得る陳所とて後光廣は
源は源補志よりなるをけ所の始とあり
しや又伝正もたのこく思ひなり
は是へより是二代実源といふるは府出羽
郡八富方よりて二村は列士未考なり